記入例

大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免の対象者の認定に関する申請書

A様式１

2024　年　9月　〇〇日

鳥羽商船高等専門学校長　殿

私は、貴学（貴校）に対し、大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免の対象者としての認定を申請します。

申請にあたって、私は以下の事項を確認し、理解しています。

◆　この申請書の記載事項は事実と相違ありません。なお、申請書の記載事項に事実と相違があった場合、認定を取り消され、減免を打ち切られることがあるとともに、在学する学校から減免を受けた金額の支払を求められることがあることを承知しています。

◆　授業料等減免の対象者の認定手続きにおいて、独立行政法人日本学生支援機構（以下、「機構」という。）を通じ、鳥羽商船高等専門学校が機構の保有する私の給付型奨学金に関する情報の送付を受けること、及び機構が鳥羽商船高等専門学校の保有する私の授業料等減免等に関する情報の送付を受けることに同意します。

◆　現在、他の学校において、大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免を受けておらず、当該授業料等減免の対象者の認定申請中でもありません。

※以下のすべての項目を申請者本人が記入してください。（＊を附した項目については、該当者のみ記入すること。）

申請者	フリガナ	トバ　タロウ	入学年月	20〇〇　年　〇月入学
	氏　名	鳥羽　太郎	記入日時点の年齢を記入してください。	
	生年月日	（西暦）　〇〇〇〇　年　〇　月　〇〇　日生　（　〇〇　歳）		
	現住所	〒　〇〇〇　－　〇〇〇〇 〇〇　都道府県　〇〇　市区町村　〇〇町３－２－４	学生証番号を記入してください。	
	所属学部・学科等	〇〇学科／〇〇学専攻	学籍番号	20〇〇〇〇〇
	学　年	〇年	昼間・夜間・通信の別	■昼（昼夜開講を含む）　□夜　□通信
	過去に本制度の支援を受けた学校名、期間（＊）	（学校名）	（期間/月数） 年　月～　年　月／　月	
	過去に本制度の入学金減免を受けたことがありますか。		ある　・　ない	
	機構の給付型奨学金に関する情報 （いずれかの□に✔印を付け、右欄に該当する番号を記載してください。） ※予約採用の採用候補者は、機構からの通知の	すでに給付奨学金の採用候補者の学生は、こちらを選択し、番号を記入してください。		
	■　予約採用の申込を行った者 【給付型奨学金の申込の受付番号（採用候補者となっていれば登録番号、給付奨学生となっていれば奨学生番号）】	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇…		
	□　在学(在学予約)採用の申込を行った者 【給付型奨学金の申込の受付番号 （給付奨学生となっていれば奨学生番号）】	これから給付奨学金の申込みをする学生はこちらを選択してください。番号は記入不要です。		

本校ホームページで該当の有無をご確認ください。

申請者	独立行政法人国立高等専門学校機構における授業料，入学料及び寄宿料の免除及び徴収猶予に関する規則第３条以外での申請希望 記入例 （１）申請希望　（　あり　・　なし　） ＜注意事項＞ ・対象者：災害等による特別な理由によって授業料の納付が困難であり、学業優秀と認められる学生 ・別途、所得証明書等関係書類を提出する必要があります。 ・新制度による授業料減免額により、機構における授業料免除制度の対象とならない場合があります。 以下、（１）でありに〇をつけた方のみ回答してください。 （２）学期区分 □　前期 ■　後期 【４・５年生、海事システム学専攻１年生、生産システム工学専攻学生】 災害等特別な事情がない場合、「なし」を選択してください。 （「なし」を選択されると（２）～（４）は記入不要となります。） （３）申請区分 ■　災害等による特別な理由による申請 学校記入欄　□ 国立高専機構規則第134号第4条による申請　□ 国立高専機構規則第134号第10条による申請 （４）申請理由（具体的に記入すること） 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇…． 全員保護者の方に署名をしてもらってください。 ※各種証明書類等は、各校が定める提出期限までに学生課窓口へ提出してください。
保護者等	保護者等（主たる学資負担者）　（申請者との続柄　母　） 氏名（自署）　鳥羽　花子